



SYUTA (三友 周太)

SYUTA (Syuta Mitomo)

主な活動分野：美術

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~syuta/>

プロフィール：

Artist/Pharmacist

1967年 Bronx NY USA 生

1991年 東京薬科大学薬学部卒 薬剤師

製薬企業で養ったスキルを活用し、アートの社会への係わり合いをテーマに活動を行う。バスをカメラオブスクラにする、Sightseeing Buscamera Project に佐藤時啓（東京藝大）と共に携わるほか、平和、環境、健康をテーマにかと活動を展開する。

中村キースヘリング美術館アドバイザー、銀座芸術研究所代表、Tokyo Milky Way 地区 irector、アートミーツケア学会所属

個展：ぎゃるりじん（横浜）、AYUMI ギャラリー（神楽坂）、マキイマサルファインアーツ（浅草橋） 他

Art Project/Workshop：

2004年～ Sightseeing Buscamera / 2005年 CET (Central East Tokyo) Director / 2005年～ 車椅子 drawing (横浜・帯広) / 2007年～ 広島市民芸術祭 (広島) / 2007年～ The Blue Sky Project (新潟) / 2008年～ どんぐり里親 project (小淵沢) / 2009年～ TAOF :Think About Our Future (横浜・埼玉・鹿児島) / 2010年～ CAG (Carried Gallery) / 2010年 日本社会薬学会講演「医療とアート」 / 2010年 Artist Action 枝川

メッセージ：

光や音を用いて感覚に訴えかける表現がテーマの一つあり、体感できる表現方法を通じて、時の流れや、視覚、聴覚を空間の中で感じて貰える表現方法を模索しています。15年間の製薬企業で勤務した際に得たマネジメントのスキルを生かして、「アートと社会の係わり合いについて考える」ことが、私の活動テーマの根底にあります。アートに興味の無かった人や、興味はあるけれどもう一步踏み込めなかったような方々が、活動を通して一緒に体感してアートを介して、人と人との新たな繋がりや地域交流が生まれることが出来ればよいと思います。埼玉県は30年間育った地でもあり思いも深いこともあり、SMFの活動の中から埼玉の特色を生かして、文化施設やアーティストだけの活動ではなく、より広く市民がアートに触れることにより、文化活動が活性化し、豊かな日常が過ごせることを望みます。

SMF 事業への参加歴：

2008年 Sightseeing Buscamera (アート竜巻フェスタ：川越、入間、川口、北浦和)

2009年 音の箱、光の箱：河村陽介と共同制作 (回遊美術館：北浦和)

2010年 音の部屋：河村陽介と共同制作 (体感する美術-サウンドアートから：埼玉県立近代美術館 講堂)



2011年個展 HIRONINNGEN
(マキイマサルファインアーツ)



2010年 TOKYO MILKYWAY White Elephants